

アッポコ × 響 × 前線

ARTS PROJECT IN OSAKA KASHIWARA

現代音楽グループ Contemporary Music Group  
響 HIBIKI ZENSEN

～ミニコンサート～

音で辿る軌跡

第3回

# 柏原の音

現代音楽

この瞬間に挑む

自由な音世界!

2019年 3月9日(土)

13時30分開場 14時開演 入場無料

@問屋場亭  
(定員約40名)

大阪府柏原市国分本町4丁目9番27号  
近鉄線 河内国分駅より徒歩6分  
JR関西本線 高井田駅より11分

\*お申込み\*

[gendaim@appoko.org](mailto:gendaim@appoko.org) までメール申込み  
(ご連絡先、お名前、ご人数をお申し出ください。)

サクソフォン: 松葉彩 ヴァイオリン: 村瀬響

仮屋賢一 (ヴァイオリン独奏) 作曲 H/V

尾崎一成 (アルトサクソフォンとヴァイオリンの二重奏) 作曲 断片的前奏曲 雪の水仙郷

増田建太 (テナーサクソフォン独奏・ライブエレクトロニクス付) 作曲 Conveyor  
(全曲新作・世界初演)



この企画は、2018年度柏原市まちづくりに頑張る自治会・団体に対する助成事業を活用しています。

主催: アーツプロジェクトインおおさか柏原(アッポコ) <http://www.appoko.org>

共催: 現代音楽グループ「響キ前線」 [hibikizensen@weebly.com](mailto:hibikizensen@weebly.com)



「柏原の音 音で辿る軌跡」と題した本演奏会は、柏原という地域をテーマに、聴衆と音楽家が共通の認識を持って音楽を作り上げることを目的としています。本演奏会が、柏原の豊かな歴史と文化を問い直すきっかけになることを願っています。それぞれの作曲家が描いた柏原のサウンドスケープをお聴きください。

## 問屋場亭・・・

柏原市を流れる大和川は、水運で大阪と奈良を結んでいました。また、柏原の地も街道として機能していました。その中で通商や物流の要所となっていた歴史ある建造物です。現在は古民家として新しく利用されています。

## ～演奏者～



松葉彩  
(サクソフォン)

大阪府出身。相愛大学音楽学部管楽器専攻を首席で卒業。平成24年度、平成26年度同大学「学長賞」受賞。京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程修了。大学卒業演奏会、第56回関西新人演奏会、第12回サクソフォン新人演奏会など、数々の新人演奏会に出演。第13回大阪国際音楽コンクール室内楽部門第3位受賞。平成25年度、26年度「公益財団法人青山財団」奨学生。「第65回相愛オーケストラ定期演奏会」に選抜ソリストとして、ドビュッシー作曲サクソフォンと管弦楽のための狂詩曲を共演する。ケネス・チェ氏、フィリップ・ガイス氏のマスタークラスを受講。サクソフォンを平野公崇、岩田瑞和子、前田昌宏、國末貞仁、須川展也の各氏に師事。現在、演奏活動、後進の指導を行う傍ら、アジア途上国の子供たちにむけた音楽教育活動も行うなど、幅広く活躍中。プール学院中学高等学校非常勤講師。

京都市立京都堀川音楽高等学校、桐朋学園大学カレッジディプロマコース卒業。2012年秋に青山音楽記念館バロックザールにて『ヴァイオリンソロデビューリサイタル～francais～』を開催し各方面から高い評価を得る。2015と2016年にはオーケストラと共演しソリストを務める。またアルゼンチンタンゴにも意欲的に取り組み、2013年～2015年まで本格派タンゴ集団「アストロリコ」のメンバーの一人としても活躍。これまでに戸上和代、木村和代、西和田ゆう、森下幸路、原田幸一郎の各氏に師事。アルゼンチンタンゴを麻場利華、門奈紀生の各氏に師事。現在は後進の指導にあたりと共に『シンフォニア・アルシスOSAKA』、Sony Music『STAND UP! CLASSIC』のコンサートマスターを務める。テレビなどメディアでも演奏活動を活発にしている。猫と熱帯魚が好き。



村瀬響  
(ヴァイオリン)

## ～作曲者～



仮屋賢一

1992年生まれ。京都・乙訓の地に生まれ育つ。幼少期よりピアノを始め、中学生のとき吹奏楽部でトロンボーンを担当。15歳のころより趣味で作編曲を始める。京都大学工学部へ進学後、様々な邂逅により作編曲の機会を得る。今に至るまで独学。関西現代音楽交流協会会員。俳句雑誌「奎」編集長として俳句も嗜む。現代音楽グループ「響キ前線」メンバー。

1990年、奈良県生まれ。大阪教育大学卒業。同大学院修了。第20回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門畑中良輔賞。第4回ドヴォルジャーク国際作曲コンクールジュニア部門第3位。2014 PARMA Student Composer Competition入選。現音作曲新人賞第32回入選、第33回富樫賞。第15回弘前桜の園作曲コンクール第1位及び、弘前市長賞、下山一二三作曲賞。XXXVI Foro Internacional de Música Nueva "Manuel Enríquez"(メキシコ)、mise-en music festival 2015(ニューヨーク)、soundSCAPE new music Italian alps 11th season(イタリア)、Composers Now 2016 Festival(ニューヨーク)、impuls festival 2017(オーストリア)にて作品上演。ACL Conference & Festival(2016年韓国)にて、自作品をレクチャー。作曲を物部一郎、北川文雄、猿谷紀郎の各氏に師事。impuls academy 2017にて、Klaus Lang氏のプログラムを受講。日本現代音楽協会会員。現代音楽グループ「響キ前線」メンバー。



増田 建太



尾崎 一成

1989年、大阪府堺市生まれ。高校時代に作曲を大塚晃一氏に師事、その後独学。管楽器を中心に様々な楽曲の作編曲を担当。第10回記念弘前桜の園作曲コンクール一般の部、第1位。第2回東京かつしか作曲コンクールS部門入選。第7回日本管打吹奏楽学会作曲賞本選ノミネート。株式会社ブレンからアンサンブル楽曲を出版。現在、京都市立芸術大学大学院博士後期課程音楽専攻音楽学領域に在籍中。現代音楽グループ「響キ前線」メンバー。

■連携事業：大阪柏原のまちに手ぬぐいを飾って愛でて歩くゆる～い催し  
かしわら手ぬぐいWEEK2019  
2019年3月17日(日)～3月24日(日)  
■主催事業：古民家で集う、アッポコ交流会 2019 (ARTS PROJECT in OSAKA KASHIWARA)  
3月9日(土曜日) 16時30分～19時30分：問屋場亭(大阪柏原市国分本町4) 会費1500円